



# 稲の神様に願いを込めて

1月中旬、栗山賢治さん（城中町）のご自宅にお邪魔すると、玄関に多くの白い実がなった木の枝が飾られていました。「これは、ならせ餅だよ」と栗山さん。

ならせ餅とは、五穀豊穡と無病息災を願い、木の枝に丸めた餅を付ける小正月（15日）の伝統行事の一つ。栗山家でも代々、家族みんなで餅をつき、庭の木に実のようにならせます。木片をつぼみと花に見立てて付けるのが栗山家流。「昔はごもかしこもこの季節になると、ならせ餅を作っていたが、最近あまり見かけなくなりました」と栗山さんは言います。

ならせ餅は、「20日の風に当てるな」と昔から言われ、この餅を食べると1年間風邪をひかないという言い伝えがあります。栗山家でも19日まで飾ったあと、毎年かき餅にしていたそうです。



市内の男女共同参画に取り組む企業・団体を紹介します

## うしく男・女図鑑

No.13



フレンドリージャパンワールド  
代表 村尾光子さん

### 【団体データ】

フレンドリージャパンワールド（ひたち野東）  
会員数/18人（女性15人、男性3人）  
※フレンドリージャパンワールドは牛久市男女共同参画ネットワークに新規に入会いただきました。

地域住民と外国人居住者の住みよいまちづくりを目指し、1988年に設立して以来、県央・県南地域にて、外国人への生活のサポート全般を支援する活動を行っています。民間企業等からの依頼を受け、留学生や労働者、外国人居住者のための日本語教室も開催しています。

「国という壁を超えてみんなが幸せに暮らせるよう、自分のできることをしたかった」という思いから、地道にひとり始めた支援活動でしたが、近所の方など賛同者が集まり団体となりました。当時、子育て中のスタッフが主でしたが、子育てのストレスも吹き飛ばしていきいきと活動していたこともいい思い出と言えます。スタッフや外国人の笑顔に癒され、たくさんの方の幸せをいただき、感謝の気持ちの源に活動しているという村尾さんは、「今後は地域に住む外国人と共に皆が元気になるような多世代交流活動を進めていきたい」と抱負を語ってくれました。

牛久市男女共同参画ネットワークは市民と行政とのパートナーシップにより牛久市の男女共同参画を推進していくために結成されました。一緒に推進していただける団体、事業所会員を募集しています。